

# 名古屋丸の内ロータリークラブ Weekly Report

長谷川龍伸 会長 年度テーマ  
=ロータリーの誇りを胸に、前進しよう=



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

創立 1995年3月9日  
承認 1995年3月28日  
会長 長谷川龍伸  
幹事 松尾雄二郎  
事務局 名古屋市中区栄3-29-1  
名古屋クレストンホテル 1007号  
TEL 052-263-1324  
FAX 052-263-0730  
Mail rcnagoya-marunouchi@waltz.ocn.ne.jp  
HPhttp://www.nagoya-marunouchi-rc.org/

例会場 名古屋クレストンホテル TEL 052-264-8000  
例会日時 木曜日 12:30  
クラブ会報広報委員長 大岩とよみ

2011-12年度R.I.会長  
カルヤン・パネルジー

## 第811回 例会No.41 平成 24年 5月24日(木) 晴

ロータリーソング 「それでこそロータリー」  
出席報告 会員47名中20名出席  
出席率 46.51% 出席計算人数 43名  
修正出席率 5月10日 95.56%  
スピーカー 吉田光一さん

### 会長挨拶 長谷川龍伸

皆さん、こんにちわ。

明日、5月25日、名古屋高等裁判所で、重大な決定が出される予定です。それは、「名張毒ぶどう酒事件」の再審開始に関する決定です。

この事件は、1961年に三重県名張市で女性5人が犠牲になった事件で、奥西勝という人が犯人であるとして死刑判決を受け、確定していたのですが、この判決に疑問があると言うことで、再審請求が繰り返されてきました。非常にややこしい裁判手続きが長く続いており、例えば7度目の再審請求が2002年に起こされ、それからだけでも10年にわたって高裁と最高裁を行ったり来たりするなどしていましたが、ようやく、再審開始をするかどうかについて、名古屋高等裁判所が判断を下すことになったというものです。

明日以降、ニュースで大きく報道されると思いますので、基礎知識としまして、再審とは何かといいますが、普通、民事でも刑事でも、判決が出て14日間経つと、確定と言いまして、効力を争うことができなくなります。14日以内に控訴や上告をすると確定しませんが、いずれは判決が出て、また14日経ちますと、最後には確定することになります。

確定した判決は効力が争えないのですが、例外的に、証拠が偽造されたものであることがわかったときや、明らかに無罪を証明する新しい証拠が発見されたようなときは、裁判をやり直すこととなります。これが再審です。

奥西さんは事件当時35才でしたが、現在は86才だそうです。高齢であるということもあって、今回の決定が注目されています。

私は、この事件には関わっていませんので、判断材料を持ち合わせていませんが、仮に奥西さんがやっていなかったとすると、50年以上罪のない人を苦しめたことになり、大変なことだと思います。

ちなみに、今回決定を下す名古屋高裁の部長は、名古屋

で起きた「闇サイト殺人事件」の高裁判決を担当された人です。そのとき、死刑嘆願署名が30万人集まっており、弁護士会でもなかなか弁護人のなり手がいなかったのですが、誰かがやらないといけないということで、当時副会長だった私が国選弁護人を引き受けたという経緯がありました。結果は、1審で死刑であった被告人が無期懲役になるというものでした。その後は、検察が上告して、現在、最高裁に係属中です。

その部長はおとなしい感じの人ですが、こういう大胆な決定を出されることがありますので、今回も思い切った決断をされるのではないかと、個人的に思っています。

### ニコBOX

本日は吉田光一さんより、震災被災地復興支援活動についてお話いただきます。吉田さん、どうぞ宜しくお願い致します。長谷川会長、松尾幹事、西垣、安江、金子、北原、池井戸、西川、加藤満男、後藤、藤野、森田、渡邊、加藤久明(敬称略)

吉田さん 本日卓話をさせていただきます。宜しくお願いします。

岩田さん プリヤンティカさんへの支援募金、宜しくお願いします。

磯部さん 妻の「緑樹」の誕生祝のお花を有難うございました。

春のニコニコ健康感謝 Day

池井戸、石井、川原、西垣、渡邊、金子(敬称略)

本日合計 51,000円

### 米山奨学生支援募金報告

米山記念奨学委員長 岩田 宏



米山奨学期間の終了したアッタナヤカ・プリヤンティカさんへの支援活動として、本日皆様に募金をお願いしたところ、出席者全員の方からご協力を頂くことができました。心より感謝申し上げます。

5月24日募金集計

出席者20名 合計額 106,000円



## 卓 話

「東日本大震災 被災地復興支援活動」

吉田光一



地区へ提出した「東日本大震災被災地支援活動報告書」をもとに、現地の状況、これからの支援のあり方などをお話いただきました。報告書をご希望の方は事務局までお申し出下さい。

第810回 例会No. 40 平成 24年 5月17日(木) 晴

親睦夜間例会 18:30~名古屋クレストンホテル

ローターソング 「我等の生業」  
出席報告 会員47名中25名出席  
出席率 60.97% 出席計算人数 41名  
修正出席率 5月3日 祝日

5月17日 会長挨拶

長谷川龍伸

皆さん、こんばんわ。

今月号の「ローターの友」を見ていたら、「職業奉仕を語る」という座談会の記事が載っていました。

その中で、諏訪昭登さんという、広島のパストガバナーの方が「この4~5年、特に時代の変化をしみじみと感じる。ロータリアンのローターに対する認識度の低下とローターの会員であることの使命感とか、誇りとか、非常に低いように感じられる」と言っておられました。続けて、ローターの精神的な支柱は奉仕の理想で間違いのない、として、それは「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」と「超我の奉仕」である、とされていました。

ところで、この「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」というのはアーサー・フレデリック・シェルドンが提唱した標語ですが、シェルドンについて詳しく述べたものを「ローターの源流」というサイトで見つけました。これは尼崎西クラブの田中毅さんという方が主催されている「源流セミナー」という勉強会の内容をまとめられたものです。それによると、シェルドンは経営学の専門家で、シェルドンスクールという学校を主催されており、1921年当時、卒業生は26万人いて大繁盛していたそうです。

そして、He profits most who serves best というのは、シェルドン自身の経営哲学であり、シェルドンは親睦と会員の相互扶助団体であったロータークラブに自らの経営哲学を持ち込むことによって、ロータークラブを飛躍的に発展させたそうです。

ちなみに、Service above self というのは、誰が言ったかわからない言葉で、その前にフランク・コリンズという人が言った service not self という言葉はあったそうです。

そして、He profits most who serves best というモットーに対しては反発もあり、これを排除しようとする動きもあって、そのせいか、シェルドンは亡くなる5年前にシカゴクラブを退会したそうです。もっとも、その後も He profits most who serves best というモットーはロータークラブの精神そのものとされているのですから、やめなくても良かったのではないかと思います。複雑な事情があったようです。

つまり、「奉仕の理想」と言っても、時代により、人により、考え方は様々なようです。

今の時代に生きる我々としましては、今の時代に合った、職業奉仕なり、ロータークラブの意義なりを常に考えて行かなくてはならないと思います。

ちなみに、座談会では、CSRとかISO26000等についても触れられておりましたが、私個人は、ロータークラブの職業奉仕というからには、もう少し個人の内心に関わるものにとどめておいた方が良いのではないかとこの感想を持ちました。

## 5月17日ニコBOX

本日は親睦夜間例会です。楽しく過ごしましょう！

長谷川会長、岩田、若原、金子、西川、堀江、後藤、林昌義、永井、藤野、矢野雄嗣、小菅、中嶋、森田、磯部、植木、立石(敬称略)

松尾幹事 今月は私の誕生日です。お祝いを有難うございます。

田島さん 今日ゴルフ、松尾幹事にグロスで勝ってしまいました。副幹事としての立場もわきまえずゴメンナサイ合掌。そして加藤久明さん、名門藤岡カントリーをお値打ちに利用させて頂き有難うございました。

北原さん みなさま、お疲れ様です。

春のニコニコ健康感謝 Day

藤田、林 昌義、堀江、磯部、水野、森田、西川、植木、矢野雄嗣、北原、小菅(敬称略)

本日も合計 66,000円

## 第11回 理事役員会議事録

平成24年5月10日(木)12:00~例会場にて

出席者 長谷川龍伸、藤田守彦、安江英雄、後藤 徹、松尾雄二郎、田島陽介

議題

1. ニコBOX「東日本大震災復興支援先」の件 保留
2. 防災セミナー(卓話)実施の件 承認  
5月31日 名古屋市消防局防災室

例会のご案内

5月31日(木) 第812回例会

「防災セミナー」名古屋市消防局防災室長 木俣誠一様

6月7日(木) 第813回例会

「ローター研究」R情報委員長 磯部 徹さん